

住み慣れた地域で過ごすために・・・

地域の皆さんの見守りと協力があれば、認知症になっても、買い物を楽しんだり、美容室や喫茶店で自分の時間を過ごすなど、今までと同様の生活ができます。

認知症であることを周囲の人に伝え、家族だけで抱え込まないようにすることも大切です。

認知症の大きな特徴として、本人に病気だという意識は薄く、おかしい点などを指摘しても認めないことがあります。

たとえば、お金の計算がわからなくなったり、話がわからなかったり、できないことがあっても「わかっている」「やらないだけだ」などと口にする場合があります。

そんなときは認知症の可能性のあることを理解し、ゆっくりと説明したり、手助けをしてあげてください。温かくフォローすることで、認知症の人も安心して残っている能力を発揮することができます。



認知症の人や家族を温かく見守る応援者 認知症サポーター



認知症サポーターは、認知症のことを理解し、地域や職場で認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者です。
認知症に関する正しい知識や対応の仕方などを学ぶことができる「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

問い合わせ先

三木市役所 健康福祉部介護保険課
介護予防グループ 電話0794-82-2000



頭の健康チェックをしてみませんか



「物忘れが多くなってきた」「あれ？おかしいな」と思うことはありませんか。
タッチパネル【物忘れ相談プログラム】にチャレンジしてみませんか。

対 象：物忘れが気になる市民の方

費 用：無料

場 所：三木市中央地域包括支援センター 西部サブセンター
三木市加佐62番地の1（旧市民病院管理棟2階）
電話 0794-83-0160

内 容：20分程度の対話式の記憶力チェック、結果説明等
毎月1回 第3水曜日（予約制）

※地域のサロンや集会所等にも出向いています。



ゲーム感覚で簡単にセルフチェック